

■不知火舞、痴漢囀捜査

不知火流忍術継承者、不知火舞。日々 忍としての任務に明け暮れる彼女に、新たな任務が下される。

最近現れた謎の電車痴漢。この痴漢を捕らえるため、痴漢囀捜査をしてほしい、とのこと。

痴漢は“淫気”なる不思議な能力を使い、女性を強制的に発情させることが可能らしい。

よって、忍の性戯“房中術”に長け、更に格闘能力にも優れた舞が選ばれたのだ。

(噂じゃ、子供じゃないかって話だけど……なんにせよ、ちゃっちゃと終わらせましょ♪)

——……

—————……………

(……！ 来た……！)

囀捜査開始から数分。舞の色香に誘われたか、早速痴漢が舞の尻に手を伸ばしていた。

見た目の割に慣れた手つき。そして触れられて感じる、異様な気配。この痴漢がターゲットであると確信した舞は、一瞬で私服から忍装束に変化する。

(悪いけど全力でいかせてもらおうよ！ 痴漢なんかは——負けたりしないわっ！)

少年のような見た目とはいえ、油断はできない。得体の知れない相手に対し、いきなり奥義を繰り出す。

舞は忍装束に着替えただけでなく、更に二人に分身していた。しかも分身体は可愛いウエイトレス衣装だ。

「不知火流奥義！ 陽炎、空蟬之舞！」

忍装束、ウエイトレス……二人の舞は少年に対し背を向けた瞬間、仕込んだ武器で攻撃。二人となったことで、二倍の火力を繰り出し——

——……

—————……………

「んお♥♥ おほおほ……っ♥♥」

『あ♥♥ あ、あんっ♥♥』

二人になって挟撃を試みたはずの舞——しかしあっさりと返り討ちされ、今や二人揃って痴漢の成すがままとっていた。

房中術どころか大した反抗もできず、ただ万歳の格好で吊革に掴まるしかできない。

少年の能力なのか、なぜか分身が解除されないまま、忍装束とウエイトレス、二つの姿を存分に愉しまれるのだった——

「おほっ♥♥ いっイクっ♥♥ んおおおおおおお♥♥♥」

『あっ♥♥ も……ダメっ♥♥ ダメえっ♥♥ あああああんっ♥♥♥』

——……

—————……………

◆囀捜査記録 其の二

あろうことか、たかが痴漢相手に敗北した舞。

このまま引き下がるわけにはいかない。同じ車両に乗り込み、リベンジに挑む。

そして再び、あの痴漢が舞の元へとやってくる。

(痴漢なんかは——負けたりしないわっ！)

「不知火流奥義！ 陽炎、空蟬之舞！」

雪辱を果たすため、以前と同じシチュエーションに同じ技で応える。

いつもの姿の舞は忍装束からチラリと見える美尻を、ウエイトレス姿の舞は可愛い衣装が捲れ上がって覗ける下着に包まれた爆尻を、

痴漢に向けてぶるんっ♥ と勢いよく振り抜いて攻撃。二人となった舞は、二倍の火力を繰り出し——

——……

—————……………

ばんばんばんばんばんばんばんばんっ!!

「んお♥♥ お♥♥ ほおっ……おおおおおお♥♥♥」

『あん♥♥ あ♥♥ あっ♥♥ あはあんっ♥♥♥』

今度こそ痴漢を捕らえるはずだった舞。だが結果、前回と同じく万歳の格好で吊革に掴まり、前回と同じく後ろから少年に弄ばれていた。

更に今回は挿入まで許してしまい、有り得ない“痴漢強姦”をされ、あまつさえそれに幾度となく絶頂させられていた。

「あへっ♥♥ はへっ♥♥ こっ……こんなことってえっ♥♥♥」

『あんっ♥♥ まさか、このまま出す気なんじゃ……♥♥ そ、それだけはダメええっ♥♥』

ドビュッ!!! ドビュルルルルルルルルルッ!!!

「おっほおおおおおおお♥♥♥」

『あはあああああんっ♥♥♥』

二人となっていることで、快樂は二倍——否、乗数的に膨れ上がるため、数十倍以上。

今まで体感したことのない強烈な肉悦に、二人の舞は吊革を強く握り締めた。

“たかが痴漢”の種潰けに、舞は以前に比べ数倍の屈辱を……そして、数十倍の快樂を味わい続けた……

体験版はここまでです。続きは製品版で!